

ご 提 案 書

作成 年月日：平成 23 年 5 月 10 日

取 扱	件名	USB FDDのワープロ内容と今後の対応について	検 認
	概要	受領しましたUSB接続のFDDですが、ウィンドウズXPでは標準でドライバが用意されているようです。特に専用のドライバ無で自動認識しました。	
改定履歴	2011/05/10 佐久間		

【概要】

① 4月30日受領のFDD（フロッピーディスクドライブ）を接続すると、右下のタスクトレイ部分に「必要なソフト・ドライバがインストールされ使用可能になりました」と言うような吹き出しが表示され、自動認識しました。その時の画像が下図1です。



図1 自動認識した時のXPパソコンに表示された 3.5 インチFDDアイコン

図2、FDの内容

② 受領のFDはファイル数が59で、同一フォルダに納められている拡張子がA1または、A1Xです。テキストは読めますが、飾り文字や罫線、色情報などが失われています。

【対応】

現在、従来方式の平行接続プリンターは、機種種で特殊なものしかないようで、お勧めできません。また、三菱ワープロのエースワンは、10年以上前に継続開発を断念していて、新しい基本ソフトに対応していません。XPパソコン以降の新しい基本ソフトで動作が保証されていませんし、使用可能なウィンドウズ95は基本ソフトとしてメンテナンスが終了しています。

以下、推奨する対応案です。

- ①□ 三菱ワープロのエースワン側にテキストだけを抽出して書き出す機能があれば、それをワードにコピーペーストして変換します。ワードにテキストを配置し、それに表や罫線、文字修飾を加えてワード化します。書き出す機能が無ければ、ひな型をワードで作成して今後に備えます。
- ②□ 従来のエースワンは紙で保存するか、電子ファイルで閲覧するにはスキャナーで読み取り画像化して保存します。スキャナーではファイル容量が増えますが、最近のパソコンの処理能力の向上とハードディスクの大容量化で対応できると思います。画像から電子ファイル化して新しい基本ソフトで閲覧することも出来ます。
- ③□ スキャナーは、最近のプリンターでは複合機として備え付けてあることが多く、ハードディスクも容量不足なら外付けで対応できますし、1Gバイトあたりの単価は20円を切っていて環境は整っています。